

# 日本協同組合学会 Newsletter

Vol. 26 No. 2 (通巻 69 号)

2015 年 4 月 10 日

## ～第 34 回春季大会 & 第 35 回秋季大会案内号～

発行 日本協同組合学会 責任編集 会長 柳沢 敏勝  
〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町 11 番地 飯田橋レインボービル 5 階  
J C 総研 (日本協同組合総合研究所) 協同組合研究部内 日本協同組合学会事務局  
TEL: 03-6280-7254 FAX: 03-3268-8761  
E-mail: kyodo-gakkai@jc-so-ken.or.jp  
ホームページ: <http://www.coopstudies.com/>

## 日本協同組合学会 第 34 回春季研究大会のご案内

日時: 2015 年 5 月 16 日 (土) 10:00～17:00

場所: 日本大学・湘南キャンパス (神奈川県藤沢市亀井野 1866)

小田急江ノ島線・六会日大前 (むつあいこちだいまえ) 駅下車 西口より徒歩数分  
(下記サイト及び案内図参照 ※六会日大前駅には、急行は止まりません。)

[http://www.brs.nihon-u.ac.jp/access\\_map.html](http://www.brs.nihon-u.ac.jp/access_map.html)



### <申込案内>

参加費: 1,500 円 ※非会員は 2,000 円

懇親会参加費: 4,000 円 ※学生は 3,000 円

報告要旨集のみ希望者: 1,800 円 (送料込 振込手数料はご負担ください)

☆ 参加・不参加などを同封のハガキに必要事項を記入のうえ、5 月 2 日必着で送付してください。

第 34 回春季研究大会実行委員会 実行委員長 清水 みゆき (日本大学)

# 共通テーマ：経済のグローバル化と地域・社会・協同の新しい形

－「メゾ領域」における協同の主体形成に向けて－

会場： 1号館3階 131講義室

ねらい

昨年 of 春季大会では「小さな協同」をテーマに、農協、森林組合、漁協、社会的企業が、農林漁業の振興や地域の暮らし・福祉の向上をめざして活動する事例に基づいて、協同組合の可能性について議論しました。しかし、依然として経済のグローバル化の波は押し寄せており、小さな協同がさらに広範な領域で連携することによって協同の主体を形成し、グローバル化に対応・対抗していくこと、そのための実践的な課題を明らかにすることが求められています。昨年に引き続いて学会の未来を担う若手研究者に報告をお願いするとともに、議論を深めるために二つのセッションを設けて開催します。多数のご参加をお待ちしています。

<タイムスケジュール>

10:00～10:10 開会挨拶（会長、実行委員長）

[セッション1] (10:10～12:30)

「グローバル化時代における食、農、地域産業」

座長解題：10:10～10:25 小山 良太（福島大学）

第1報告：10:25～11:05 関根 佳恵（愛知学院大学）

「食・農におけるグローバル化の進展と家族農業」

第2報告：11:05～11:45 則藤 孝志（福島大学）

「食と農で地域をつなぐ協同のあり方－真の地産地消と6次産業を問う－」

コメント：11:45～11:55 石塚 哉史（弘前大学）

討 論：11:55～12:30

《昼食休憩》 12:30～13:30

[セッション2] (13:30～15:50)

「食農資源に根ざした暮らしと地域循環型経済の構築－地域の事例から－」

座長解題：13:30～13:40 北川 太一（福井県立大学）

第1報告：13:40～14:20 山浦 陽一（大分大学）

「中山間地域におけるくらしの再構築と農業の連携－大分県を事例に－」

第2報告：14:20～15:00 青木 美紗（奈良女子大学）

「農産物直売所を核とした地域循環型経済－東大阪市『ファームマイレージ<sup>2</sup>運動』－」

コメント：15:00～15:10 宮部 和幸（日本大学）

討 論：15:10～15:50

[学会部会活動およびICA連携セミナーの報告など] 16:00～17:00

[交流会] 17:15～19:15 会場： 食堂棟3階

※ タイムスケジュール、報告者のタイトル等が少し変更する場合があります。学会 HP で掲載しますので、ご確認ください。

## ◇ 2014 年度第 2 回理事会

下記のとおり理事会を開催しますので、ご出席ください。

- ・日時：2015 年 5 月 15 日（金）18:00～20:00
- ・場所：明治大学（駿河台キャンパス・研究棟）

主な議題：第 35 回秋季大会（岐阜大会）の内容について他

※ 理事会の開催場所は、明治大学（駿河台キャンパス）ですので、くれぐれもご注意ください！

## ◇ 第 35 回大会（岐阜大会）の開催について（第 1 報）

※ 詳細が決まり次第、順次、学会 HP で掲載していきますのでご確認ください。

※ 宿泊の申込みについては、次ページ以降をご覧ください。

○日時：2015 年 10 月 2 日（金）～4 日（日）

○場所：岐阜大学応用生物科学部（JR 岐阜駅からバスで 25 分）

○実行委員長：荒井 聡

○プログラム(予定)

10/2(金) 13:30～17:00 地域シンポジウム

テーマ：地域の暮らしと協同組合の役割 ―岐阜県下の実践を中心に―

座長：荒井 聡（岐阜大学）

報告：現場から 4 名程度の報告を検討中

17:30～19:30 理事会

10/3(土) 9:00～12:00 個別報告・テーマセッション

13:00～16:30 大会講演・シンポジウム

16:45～17:50 総会、新理事会

18:00～20:00 交流会

10/4(日) 9:00～16:00 頃 エクスカーション

開催地周辺における農協、生協等の見学、美濃和紙（2014 年ユネスコ無形文化遺産登録）関係施設の見学などを予定しています。（コースが変更になる場合があります）

※「長良川鵜飼いツアー」のご案内 <開催校企画>

エクスカーション終了後、下記のとおり実施します。

<タイムスケジュール>（予定）

16 時頃 鵜飼い見学参加者 岐阜公園まで送迎

岐阜公園、岐阜城等散策、鵜飼い乗船場へ徒歩で移動

17:45 頃 鵜匠による鵜飼説明、鵜飼い乗船（貸切予定）、（船上で鵜飼い弁当）

19:45 鵜飼い開始

20:30 下船（当日中の帰京も十分可能です）

※ 鵜飼いツアーの参加費 8,000～9,000 円程度の見込み（観覧船+弁当+飲み物）

については、「鵜飼いツアー」参加希望者は、5月31日(日)までに、荒井arai@gifu-u.ac.jp宛、メール（件名：鵜飼いツアー申込）、でお申し込みください。

☆ 定員 15 名程度の船を貸し切る予定です。定員になり次第、締め切ります。

平成27年3月吉日

参加者各位

(株)農協観光 岐阜支店  
支店長 塚本公志

第35回日本協同組合学会岐阜大会参加における宿泊について（ご案内）

この度は、岐阜県岐阜市において第35回日本協同組合学会岐阜大会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

さて、弊社では、本大会の開催に際し、全国各地からお越し下さる参加者の皆様の宿泊に関する事務を担わせていただくこととなりました。

つきましては、下記のご案内をご参照いただき、宿泊のご手配は弊社(株)農協観光岐阜支店へ直接お申込みをいただきますよう、宜しくお願い致します。

なお、学会開催中は、秋の観光シーズンのため早めにお申し込み頂きますようお願い致します。

記

I 宿泊斡旋の内容について

| 宿泊日           | 利用ホテル名         | 宿泊料金<br>(お一人様諸税込) | 部屋タイプ | 食事  | 備考                    |
|---------------|----------------|-------------------|-------|-----|-----------------------|
| 平成27年10月2日(金) | 岐阜ワシントンホテルプラザ* | 8,580円            | シングル  | 朝食付 |                       |
| 平成27年10月3日(土) | 岐阜ワシントンホテルプラザ* | 8,580円            | シングル  | 朝食付 | エクスカーション出発(若しくは経由)ホテル |

宿泊ホテル名：岐阜ワシントンホテルプラザ

〒500-8833 岐阜市神田町7-7-4 TEL058-266-0111 JR岐阜駅から徒歩8分

名鉄岐阜駅より徒歩3分

※ホテルの部屋数に限りがありますので、先着順のお申込とさせていただきます。客室タイプは禁煙・喫煙のご希望を記入下さい。

※交通機関等のご手配は、弊社および農協観光各支店、JA旅行センターでお求め下さいますようお願い致します。

## II 申込方法について

1. 宿泊申込は、別紙申込書にご記入の上、下記宛にFAXでお申し込み下さい。  
岐阜市六条江東 3-1-3 (株)農協観光岐阜支店 担当：塚本

### ■下記の FAX 番号に申込書をお送りください。

**FAX 058-276-5024**

2. 受付後、確認書面と請求書をお送りします。ご予約は、確認書面を返信したことにより成立することとなります。なお、ご請求の際に取扱料金としてお一人様につき、540円を申し受けます。
3. 予約内容の変更・取消等についてはFAXにてご連絡をお願いします。なお、時期によって取消料が生じる場合がありますので、ご変更・お取消の際はご注意願います。取消料については、下記注1をご参照下さい。
4. 申込の締切日は下記の通りとなります。

**■申込締切日：【6月30日（火）】**

5. 宿泊仮予約中の部屋数には限りがございます。万一ご希望に添いかねる場合は、代案のご提案をさせて頂くこともありますのでご了承下さい。

## III 宿泊代金のご精算方法

1. 宿泊代金のご精算は、(株)農協観光岐阜支店よりご請求書を発送させていただきますので、記載された期日までにお振込をお願いします。(全額前払いをお願いします。)(発送は7月上旬を予定しています。)
2. 予約の変更・取消等によりご料金に変更となる場合は、その都度ご連絡をさせていただきます。なお、ご送金後の変更・取消に伴う返金は、実費を差引、学会終了後にご指定の口座へ振込させていただきます。

### 注1：予約取消料

宿泊予約のお取消には下表の取消料がかかります。日数は宿泊の前の日から起算します。

| 予約取消日 | 当日   | 前日  | 2日～7日前 | 7日前～20日前 |  |
|-------|------|-----|--------|----------|--|
| 取消料   | 100% | 50% | 20%    | 無料       |  |

※ 取消料は農協観光岐阜支店の営業時間内にご連絡頂いた時点での取消となりますので、ご注意ください。

営業時間は平日の9時～17時30分となります。土日祭日は定休日です。  
ご不明な点はお手数ですが、弊社担当までお知らせください。

(株)農協観光岐阜支店 担当者 塚本

TEL：058-276-5020 / FAX:058-276-5024

以上

## 第35回日本協同組合学会 宿泊申込書

(申込日：平成27年 月 日)

申込先：(株)農協観光 岐阜支店 FAX：058-276-5024

|       |  |                  |  |
|-------|--|------------------|--|
| フリガナ  |  | 所属先              |  |
| 申込者氏名 |  | 所属部署             |  |
| 電 話   |  | 所属先住所<br>(書類送付先) |  |
| F A X |  |                  |  |

| No. | フリガナ                                 | 希望宿泊日 |       | 備考欄      | お煙草                                     |
|-----|--------------------------------------|-------|-------|----------|---|
|     | 宿泊者氏名                                | 10月2日 | 10月3日 |          |   |
| 記入例 | ギフ タロウ                               | ○     | ○     | 10/4後泊希望 | 喫煙・ <input checked="" type="radio"/> 禁煙 |
|     | 岐 卓 太 郎                              |       |       |          |   |
|     | <input checked="" type="radio"/> 男・女 |       |       |          |   |
| ①   |                                      |       |       |          | 喫煙・禁煙                                   |
|     | 男・女                                  |       |       |          |   |
| ②   |                                      |       |       |          | 喫煙・禁煙                                   |
|     | 男・女                                  |       |       |          |   |

備 考

◎その他要望等がございましたら、備考欄にご記入下さい。

## ■ 秋季大会の開催方式の変更について

北川 太一（企画担当副会長）  
小山 良太（企画担当常任理事）

昨年の愛媛大会より、開催校のご理解も得ながら、以下のように従来の方式からの変更を行っています。

- ① 「地域シンポジウム」を平日（金曜日）に行う  
会員外の方も含めて、実践家の方々が参加しやすくなるように配慮したものです。
- ② 「シンポジウム」の時間帯を半日に集約  
従来に比べて時間は短くなりますが、コンパクトで中身の濃い議論が行われることを期待します。
- ③ 従来の「個別論題報告」に加えて「テーマセッション」を設定し、土曜日の午前に行う。  
テーマセッションは、科学研究費や共同研究プロジェクトなど、グループで報告を行うものです。要領は次のとおりです。
  - 1) 全体の報告時間は1.5時間～2.5時間
  - 2) 報告方法は、個別論題報告に準じる
  - 3) 座長はグループから出してもらおう（学会に希望することも可能）
  - 4) 質疑の方法（報告ごとに行う、まとめて行うなど）は、グループに委ねるなお、土曜日に開催するのは、若手をはじめとした報告者にも懇親会に参加いただき、議論・交流を深めてもらうことを目的としています。
- ④ 個別論題報告・テーマセッションの申込締切日を早く設定（募集要項は次ページを参照）  
個別論題報告も含めた大会プログラムを、できるだけ早く会員の皆さんにお知らせするためです。座長等が決定次第、学会ホームページにアップします。  
なお、こうした大会方式の変更は、次年度以降必ずしもすべて継続するわけではありません。問題点を洗い出しながら、会員の多様なニーズに応え、実践と理論が結びつくような協同組合学会らしい議論が深まるために、引き続き常任理事会等で検討していきます。会員の皆さまの忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

## 第35回大会 「個別論題報告」および「テーマセッション」の募集について

10月3日(土) 午前9:00~12:00に、個別論題報告およびテーマセッションが行われます。多数の応募をお待ちしています。

### 【報告者の会員資格および会費の納入について】

#### ① 単独報告の場合

エントリーの時点で、本学会の学会員である(新入会員の場合は、入会申込みを行っている)ことが条件です。会費を滞納されている方は、速やかに納付をお願いします。

#### ② 複数人数(連名)による報告の場合

エントリーの時点で、筆頭報告者が本学会の学会員である(新入会員の場合は、入会申込みを行っている)ことが条件です。会費を滞納されている方は、速やかに納付をお願いします。筆頭報告者以外は学会員である必要はありませんが、できる限り入会をお願いします。

### 【提出の締め切り・方法】

個別論題報告・テーマセッションともに、締め切り日は次のとおりです。テーマセッションについては、各報告の要旨に加えてセッション全体の解題も下記の個別報告要旨原稿の書式に従って提出してください。

報告テーマおよび報告要旨の提出 締切：7月24日(金)(厳守)

☆ 今大会では、報告テーマと報告要旨を同時に提出していただきますのでご注意ください。

要旨の提出先(学会事務局：アドレスを新たに設定していますのでご注意ください)

〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地 飯田橋レインボービル5階

J C総研(日本協同組合総合研究所) 協同組合研究部内 日本協同組合学会事務局

TEL:03-6280-7254 FAX:03-3268-8761

E-mail:[kyodo-gakkai-ronbun@jc-so-ken.or.jp](mailto:kyodo-gakkai-ronbun@jc-so-ken.or.jp)

### 【申し込み要領】

次ページ以降のフォーマットに従い、電子メールで応募してください

(7月24日(金) 必着)。

### 【個別報告要旨原稿の書式】

次の書式に従って原稿を作成し提出してください。準じていない場合は、受け付けられない場合があります。

- ① 1題につきタイトルも含めてA4版で1枚(厳守)
- ② タイトル:16ポイント、太字、英数字は半角、中央揃え
- ③ 氏名:12ポイント、MS明朝、太字、右揃え
- ④ 所属機関:12ポイント、MS明朝、太字、右揃え
- ⑤ 本文:所属機関より1行明けて書く。10.5ポイント、MS明朝、英数字は半角、句読点「、」([全]句点)「。」([全]読点)
- ⑥ 本文:和文は1,302字(42字×31行)、英文は400語(図表は、字数に含める)
- ⑦ マージン:上下20mm、左右22mm以上とる。



## 日本協同組合学会 第35回大会

※ 個別論題か、テーマセッションか、選択して記入してください。

※ 選択する項目については、あてはまる方に○をつけてください。

### 個別論題報告 2015年 月 日申し込み

報告タイトル：

報告者或いは

筆頭報告者氏名： \_\_\_\_\_ 会員番号： \_\_\_\_\_

所 属： \_\_\_\_\_

住 所： \_\_\_\_\_

電 話 番 号： \_\_\_\_\_ Mail： \_\_\_\_\_

※ 必ず連絡が取れる電話番号をお願いします。

※ 連名で報告を行う場合は下記にご氏名、会員番号、所属をお書きください。↓

報告者氏名： \_\_\_\_\_ 会員番号： \_\_\_\_\_

所 属： \_\_\_\_\_

報告者氏名： \_\_\_\_\_ 会員番号： \_\_\_\_\_

所 属： \_\_\_\_\_

報告者氏名： \_\_\_\_\_ 会員番号： \_\_\_\_\_

所 属： \_\_\_\_\_

パワーポイント使用  使う  使わない

次の質問にご回答ください。

※ 「いいえ」がある場合には、申し込みを受け付けない場合がありますので、ご注意ください。

①報告者（連名の場合は、筆頭報告者）は会員ですか？  はい  いいえ

②報告者（連名の場合は、会員の連名報告者全員について）は今年度の会費納入はお済ですか？  はい  いいえ

## 日本協同組合学会 第35回大会

テーマセッション 2015年 月 日申し込み

※各報告につき1枚ずつ、別紙「個別論題報告」申し込み用紙を出してください

セッション タイトル:

座長氏名:

会員番号:

座長は、学会に委任します。( ) 委任する場合は○を入れてください。

代表者氏名:

会員番号:

所 属:

住 所:

電 話 番 号:

Mail:

必ず連絡が取れる電話番号をお願いします。

次の質問にご回答ください。

※ 「いいえ」がある場合には、申し込みを受け付けない場合がありますので、ご注意ください。

①代表者は会員ですか?

はい

いいえ

②代表者は今年度の会費納入はお済ですか?

はい

いいえ

◇ 2014年度学会賞（「学術賞」「奨励賞」「実践賞」及び伊東勇夫基金に基づく「学会誌賞」）の推薦をお願いします。

●推薦期間：2015年1月から2015年6月30日（火）までの6ヶ月間。

●推薦対象

学術賞：本学会に5年以上継続して所属している会員。2015年5月末までの3年5ヶ月間に刊行された著書、論文またはそれに準ずるもの。上記条件を満たす会員を代表とする共同研究のグループが受賞者となる場合は、賞の名称を「共同研究学術賞」とする。

奨励賞：本学会に3年以上継続して所属している会員。2015年5月末までの3年5ヶ月間に刊行された著書、論文またはそれに準ずるもの（対象論文等刊行時40歳未満）。

学会誌賞：本学会会員で、本学会誌『協同組合研究』に論文を執筆した45歳未満の会員

実践賞：3年以内に刊行・発表された実践活動の記録がある者（団体）

●推薦方法：2名以上の本会普通会員の連名による推薦を得る。選考対象の研究業績の現物、著者または著者代表者の業績一覧及び履歴書各1部を添えて推薦状を提出する。推薦する場合には、学会事務局（JC総研）に連絡のうえ、所定の推薦書様式を入手して下さい。

## ◇ 部会報告

### 【グローバル化と協同組合研究部会】

・2014年9月20日に部会を開催、政府の（農協に対する）規制改革会議に関する討議を行いました。

・2015年1月27日（火）に12人が参加して、以下の報告を聴き、意見交換しました。

報告① 北島 健一 会員 「EUにおける社会的企業、社会的連帯経済について」

報告② 堀 利和 共同連代表 「韓国における協同組合基本法制定後の現状と社会的経済基法の議論」

・2015年3月14日（土）に14人が参加して、以下の報告を聴き、意見交換しました。

テーマ「協同組合憲章草案について」

報告① 富沢 賢治 会員

「協同組合憲章草案を現時点でどうかすか～日本協同組合連合会設立の提案」

報告② 比嘉 政浩 会員「協同組合憲章にかかる取組経過」

テーマ「農協改革と農協法改定」

報告③ 杉林 剛 会員「農協改革に関する経緯」

コメント 関 英昭 会員

※このほかに、内閣府主催「TPP協定交渉に関する関係団体等への説明会」（2014年10月10日・11月25日・2015年2月16日）に藤木会員（監事）・比嘉会員（事務局）が参加し、会員メーリングリストを通じて情報提供しています。

### 【女性と協同組合研究部会】

- ・2014年12月29日（月）にコアメンバー（学会会員）でフォーラム内容を検討しました。
- ・2015年2月13日（金）に15人（学会会員以外も含む）が参加して、以下のフォーラムを開催しました。

テーマ 「人間らしく働くとはどういうことか？」

報告① 近本 聡子 会員「日本の労働政策で家族はどのように変遷してきたか？」

報告② 遠藤 陽子 日本生協連職員「男女共同参画の視点からみた現場報告」

### ◇ 特記事項

ICA(国際協同組合同盟)連携セミナー（主催「日本協同組合連絡協議会(JJC)」）に日本協同組合学会が共催しました。

- ・2015年2月12日（木）「協同組合の役割と規制改革の影響」  
ポーリン・グリーン ICA 会長、ジャン＝ルイ・バンセル ICA 理事と共に柳沢会長が「日本協同組合学会はこう考える」を講演しました。
- ・2015年3月27日（金）「持続可能な地域社会づくりに向けた協同組合の可能性と役割」  
ジャン＝ルイ・バンセル ICA 理事、チャールズ・グールド ICA 事務局長、マーチン・ローリー全米農村電力協同組合協会副会長、エンツォ・ペッツィーニ イタリア コンフコーペラティブ理事が報告し、パネルディスカッションで北川副会長が進行役を務めました。

### ◇ 『協同組合研究』投稿規程の改正について

『協同組合研究』の投稿規程が改正されましたので、学会ホームページを御参照下さい。

特に、投稿先が変更になっていますので、投稿をお考えの会員の方は御注意下さい。

なお、投稿に際しては学会費が当該年度まで納入されていることが求められますので、あわせて御確認下さい。

### ◇ 会員メーリングリストへの登録のおさそい

当学会では、会員間の情報交換、学会からのお知らせ等のためのメーリングリストを開設しております。

メーリングリストへの登録をご希望の方は、[kyodo-gakkai@jc-so-ken.or.jp](mailto:kyodo-gakkai@jc-so-ken.or.jp) へご連絡ください。